

<ばらのまち福山の歴史>

福山市は、1945年（昭和20年）8月8日、空襲により市街地の約8割を焼失しました。

戦後の混迷の中、街の復興を志す市民の中から、「荒廃した街に潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう」という声が起こり、市民有志が公園の一角に約1,000本のばら苗を植えました。ここから「ばらのまち福山」の歴史が始まりました。

「花は美しい。それを愛し育む人の心はなお美しい」を合言葉に、平和と復興の象徴としてばらを植える取組が人々の心を打ち、市内の至るところに小さなばら花壇が作られ、今では「100万本のばらのまち」となりました。



<ばら公園について>

市民がばら苗約1,000本を植えた、ばらのまちづくりの始まりの地です。2006年（平成18年）には「世界バラ会連合優秀庭園賞」を受賞しました。2023年（令和5年）～2024年（令和6年）に公園内の植栽デザインをリニューアルしました。

- ・開設日：1956年（昭和31年）4月1日（開設時の名称は南公園）
- ・面積：約1.5ha
- ・ばらの品種数・本数（2024年（令和6年）4月時点）約670品種・7,000本
- ・開園時間：常時公開

<所在地>

福山市花園町一丁目

<福山駅からのアクセス>

徒歩：約20分

◎沿道のばらを楽しみながら歩ける「ローズロード」

バス：JR福山駅北口から中心部循環バス「まわローズ」青ルートで「ばら公園前」下車徒歩0分

<駐車場>

1時間まで無料 1時間を超える場合は有料

○大型バス駐車可能



制作：福山市

お問合せ先：

本ガイドブックに関すること：市長公室世界バラ会議推進室 ☎084-928-1210

ばら公園に関すること：建設局都市部公園緑地課 ☎084-928-1095

ばら公園 ガイドマップ

